

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県和歌山市 本町地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	45	

立地	周辺駐車場の供給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	5,566
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
188	200	利用料金制

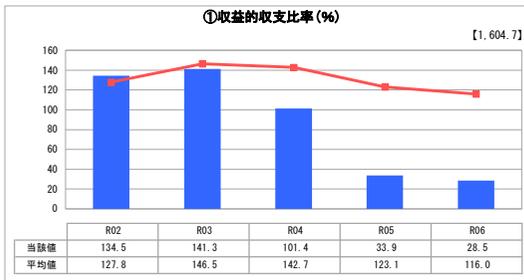
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況

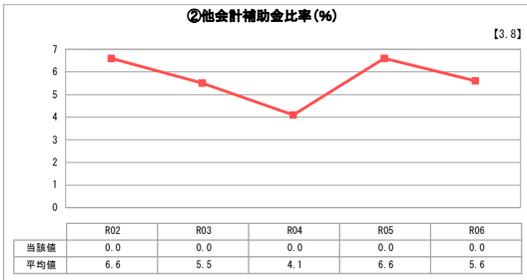
①収益的収支比率(%)

[1,604.7]



②他会計補助金比率(%)

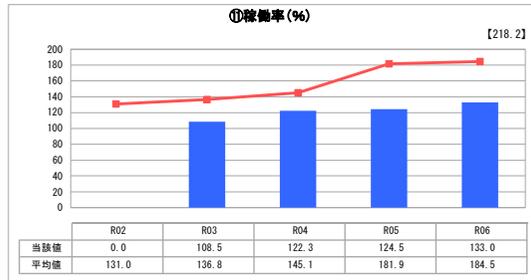
[3.8]



3. 利用の状況

①稼働率(%)

[218.2]



1. 収益等の状況について

①収益的収支比率は、令和4年度から地方債の償還が始まったため、減少している。

2. 資産等の状況について

⑥有形固定資産減価償却率について、当該事業は地方公営企業法非適用事業であるため、減価償却費を計上しておらず、有形固定資産減価償却率は算出されない。新たな設備投資の予定はないが、将来を見据えた維持管理を行っていく。

3. 利用の状況について

①稼働率について、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため、駐車場利用者が少なかったものの、令和4年度以降、徐々に行動制限が緩和されたことから稼働率の増加に繋がっている。

全体総括

当該施設は、利用料金制を採用しており、利用料金は指定管理者の収入となるが、納入金を通じて本市の収支に一定の影響を及ぼす可能性がある。現時点では、人口減少に伴う利用者の減少は見られていない。また、当該施設は、令和2年度に設備更新を実施し再開した施設であることから、当面の間、大規模な改修や更新需要が生じる状況にはないと考える。
今後も、イベント開催等を通じた地域の賑わい創出に取り組み、駐車場利用の増加、収益の拡大を図りつつ、利用動向や施設の維持管理状況を注視していくことが適当である。

2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし



⑦敷地の地価(千円)

0

0
⑧設備投資見込額(千円)
0

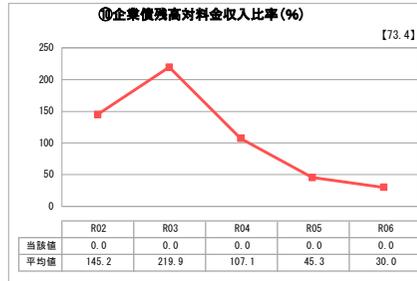
⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし



⑩企業債務高対料金収入比率(%)

[73.4]



経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県和歌山市 中央駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	43	

立地	周辺駐車場の供給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	11,748
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
577	160	代行制

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況

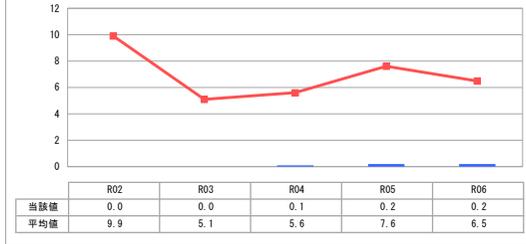
①収益的収支比率(%)

[1,604.7]



②他会計補助金比率(%)

[3.8]



3. 利用の状況

①稼働率(%)

[218.2]



1. 収益等の状況について

①収益的収支比率は、類似施設の平均値を下回っているものの、黒字収支であり、④売上高GOP比率も高水準であることから、安定した経営状況を持てている。

2. 資産等の状況について

⑥有形固定資産減価償却率について、当該事業は地方公営企業法非適用事業であるため、減価償却費を計上しておらず、有形固定資産減価償却率は算出されない。⑩企業債残高対料金収入比率は、耐震改修工事等の地方債の償還期間中で減少傾向にあり、資産としては安定した状態にある。

3. 利用の状況について

①稼働率について、令和3年度に隣接地に新たな市営駐車場が供用開始されたことにより、利用者の分散が生じ稼働率が低下したものと考えられるが、現在はおおむね安定した水準を維持している。また、類似施設の平均値を下回っているものの、①収益的収支比率が前年度から上昇していることから、長時間駐車を行う利用者の増加が影響しているものと考えられる。

全体総括

人口減少に伴う料金収入の減少はあまり見られない。一方で、今後、老朽施設の更新需要は増加することが想定される。加えて、人件費や物価高騰により営業費用は増加傾向にあるため、現行の料金水準及び設備投資水準を維持した場合、中長期的には資金面で一定の影響が生じる可能性も想定される。

現時点において、収支は健全であり、近隣の公的施設やまちなかの賑わい創出事業によって、需要増が見込まれている。引き続きの経費節減や更なる利用増加に向けた検討を行い、安定した経営に向けた取り組みを進める。

2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし



⑦敷地の地価(千円)

191,674

191,674
⑨設備投資見込額(千円)
0

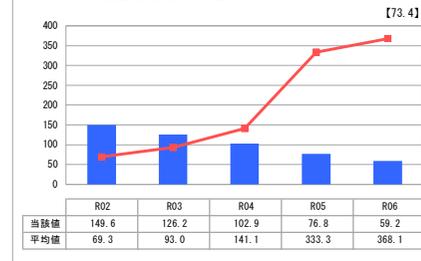
⑩企業債残高対料金収入比率(%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率(%)

[73.4]



経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県和歌山市 城北公園地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	31	

立地	周辺駐車場の供給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	7,406
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
196	200	代行制

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況

①収益的収支比率(%)

当該値	R02: 85.3	R03: 72.2	R04: 75.5	R05: 90.6	R06: 101.1
平均値	127.8	146.5	142.7	156.8	166.4

②他会計補助金比率(%)

当該値	R02: 0.0	R03: 0.1	R04: 0.2	R05: 0.3	R06: 0.2
平均値	6.6	5.5	4.1	3.7	3.2

③収支比率(%)

当該値	R02: 1	R03: 0	R04: 0	R05: 0	R06: 0
平均値	67	56	65	81	7

④売上高GOP比率(%)

当該値	R02: Δ0.5	R03: Δ17.2	R04: Δ5.9	R05: 8.5	R06: 17.4
平均値	Δ25.9	Δ24.6	Δ29.2	Δ810.7	Δ15.1

3. 利用の状況

①稼働率(%)

当該値	R02: 28.1	R03: 28.6	R04: 33.7	R05: 38.3	R06: 45.4
平均値	131.0	136.8	145.1	149.8	156.1

⑤EBITDA(千円)

当該値	R02: Δ5,472	R03: Δ7,154	R04: Δ6,705	R05: Δ2,488	R06: 275
平均値	2,220	3,097	6,051	9,971	10,272

2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

37,044

⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし

⑩企業債務高対料金収入比率(%)

当該値	R02: 40.3	R03: 46.9	R04: 42.1	R05: 36.4	R06: 31.3
平均値	145.2	219.9	107.1	143.6	114.8

分析欄

1. 収益等の状況について

①収益的収支比率は、類似施設の平均値を下回っているものの、令和6年度は黒字収支になり、④売上高GOP比率も徐々に増加している。

2. 資産等の状況について

⑥有形固定資産減価償却率について、当該事業は地方公営企業法非適用事業であるため、減価償却費を計上しておらず、有形固定資産減価償却率は算出されない。⑩企業債務高対料金収入比率について、令和2年度エシペーター及び令和3年度精算機システムの更新により債務残高があるものの、引き続き健全な施設運営を図っていく。

3. 利用の状況について

①稼働率については、依然として類似施設の平均値を大きく下回るものの、徐々にではあるが増加傾向にある。

全体総括

人口減少に伴う料金収入の減少は現時点では見られないものの、施設の老朽化が進行していることから、今後、計画的な改修需要の可能性が見込まれる。加えて、人件費や物価の上昇等の影響も考慮すると、将来的には財政運営に一定の影響が生じる可能性も想定される。現時点において、直ちに大規模な対応を要する状況にないが、中長期的な施設機能の維持・確保の観点から、改修内容や実施時期について計画的に整理し、順次検討していく必要がある。

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県和歌山市 けやき大通り地下駐車場

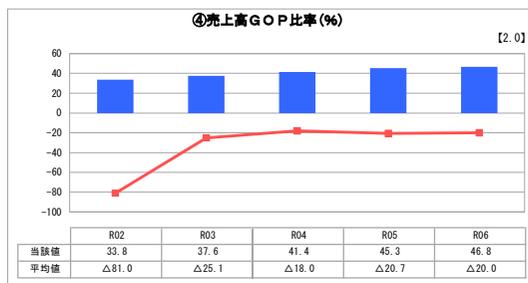
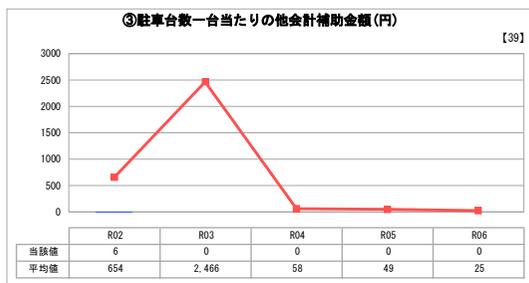
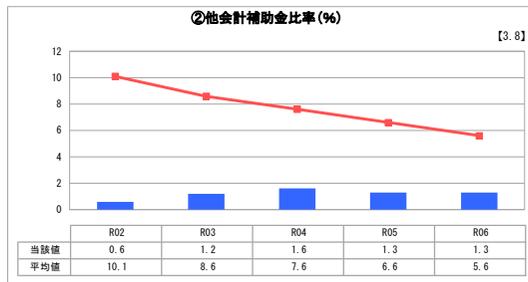
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	31	

立地	周辺駐車場の供給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	12,298
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
352	300	代行制

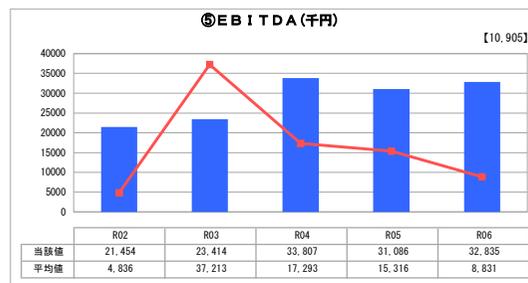
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

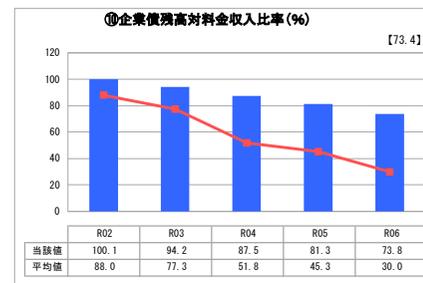


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

39,960



分析欄

1. 収益等の状況について
 ④売上高GOP比率は、類似施設の平均値よりも高い水準を維持しており、駐車場建設に係る起債については、平成27年度に償還を完了していることから、全体として、①収益的収支比率は、高く安定しており、会計としては健全である。

2. 資産等の状況について
 ⑥有形固定資産減価償却率について、当該事業は地方公営企業法非適用事業であるため、減価償却費を計上しておらず、有形固定資産減価償却率は算出されない。⑩企業債務高対料金収入比率について、令和元年度エレポートの改修及び令和2年度機械式駐車区画の撤去により債務残高があるものの、引き続き健全な施設運営を図っていく。

3. 利用の状況について
 ①稼働率については、令和2年度に停止していた機械式駐車区画を整備したことから、稼働率が上昇している。当該駐車場は、駅前に立地しており、周辺の商業施設等のイベント開催時などを中心に高い稼働率を維持している。

全体総括
 人口減少に伴う料金収入の減少はあまり見られない。一方で、今後、老朽施設の更新需要は増加することが想定される。加えて、人件費や物価高騰により営業費用は増加傾向にあるため、現行の料金水準及び設備投資水準を維持した場合、中長期的には資金面で一定の影響が生じる可能性も想定される。
 現時点において、直ちに見直しを要する状況にはないが、将来的な経営環境の変化に備え、料金改定を含む対応策について検討していく必要がある。

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県和歌山市 大新地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	28	

立地	周辺駐車場の供給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	5,602
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
166	200	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 収益等の状況

①収益的収支比率(%)

[1,604.7]

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	16.7	3.7	1.1	0.8	0.8
平均値	111.3	158.8	120.9	123.1	116.0

②他会計補助金比率(%)

[3.8]

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	10.1	8.6	7.6	6.6	5.6

③駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円)

[39]

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0	0	0	0	0
平均値	654	2,466	58	49	25

④売上高GOP比率(%)

[2.0]

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	△81.0	△25.1	△18.0	△20.7	△20.0

3. 利用の状況

①稼働率(%)

[218.2]

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	5.4	10.8	15.1	15.1	16.3
平均値	153.8	163.5	178.3	181.9	184.5

2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値					
平均値					

⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0

⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値					
平均値					

⑩企業債務高対料金収入比率(%)

[73.4]

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	88.0	77.3	51.8	45.3	30.0

分析欄

1. 収益等の状況について
 当該駐車場は、平成27年度から休止し、平成30年8月8日に営業を再開した施設である。再開後は、利用料金制指定管理者による運営のため、契約により収益が見込まれる令和7年度～9年度までの収支は少額に留まる。

2. 資産等の状況について
 ⑥有形固定資産減価償却率について、当該事業は地方公営企業法非適用事業であるため、減価償却費を計上しておらず、有形固定資産減価償却率は算出されない。債務残高はないが、引き続き必要な施設更新を検討していく。

3. 利用の状況について
 ①稼働率については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少したが、徐々に回復しつつある。今後は、利用料金制指定管理者の計画的運営により、段階的に収益を増加させていく予定。

全体総括
 当該施設は、利用料金制を採用しており、利用料金は指定管理者の収入となるが、納入金を通じて本市の収支に一定の影響を及ぼす可能性がある。現時点では、人口減少に伴う利用者の減少は見られていない。また、当該施設は、平成30年度に一部の設備更新を実施し再開した施設であることから、当面の間、大規模な改修や更新需要が生じる状況にはないと考える。
 稼働率の向上に向け、料金体系や運営面の見直しを進めるとともに、地上部の公園施設との一体的な運営について検討を進めることが適当である。

経営比較分析表（令和6年度決算）

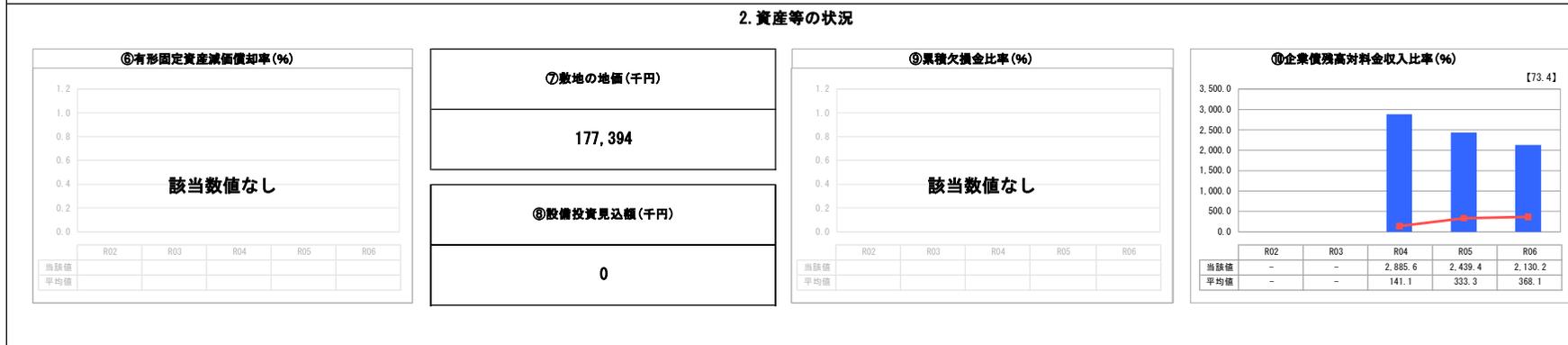
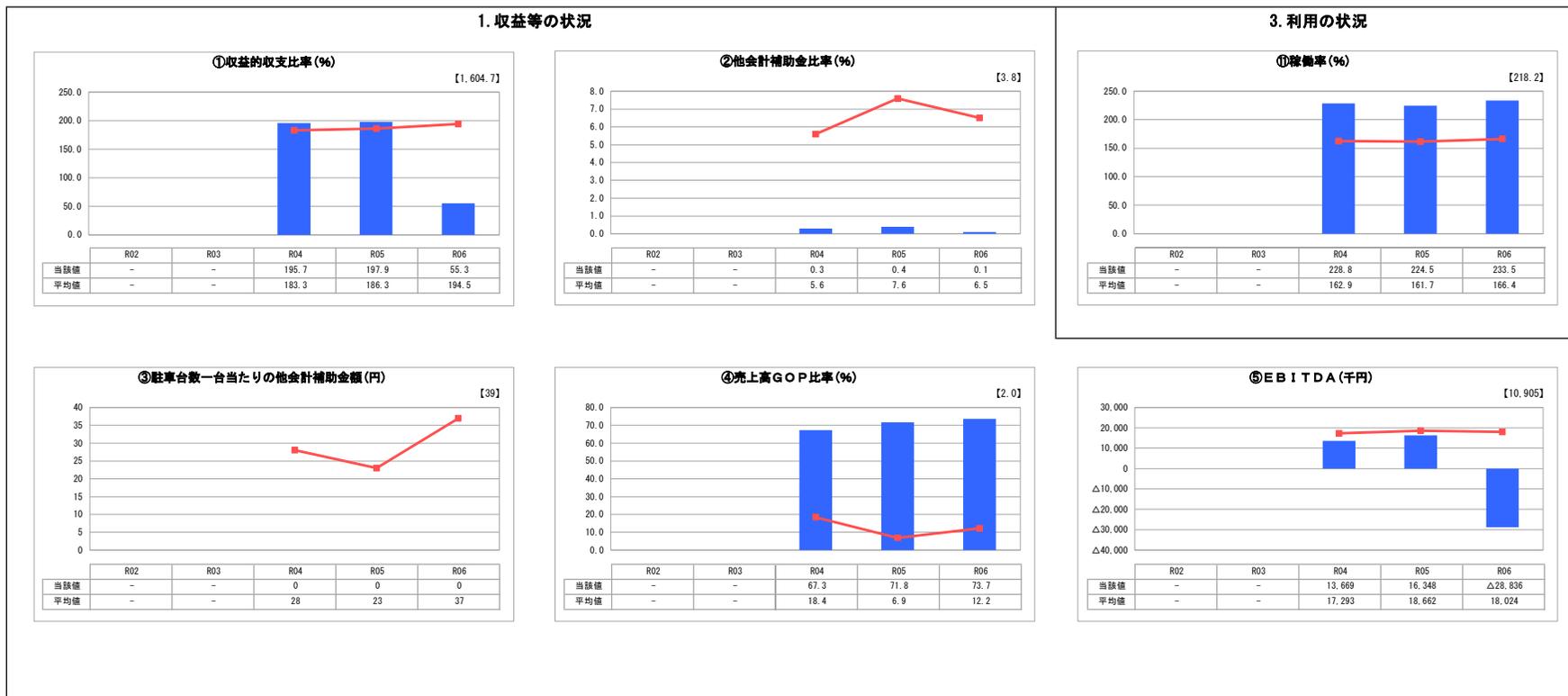
和歌山県和歌山市 北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	4	

立地	周辺駐車場の供給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	6,066
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
212	160	代行制

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
 令和6年度から建設に要した償還金が増額したため、①収益的収支比率、⑤EBITDAは、類似施設平均値より下回っているものの、④売上高GOP比率は、70%を超えており高水準を維持できている。

2. 資産等の状況について
 ⑥有形固定資産減価償却率について、当該事業は地方公営企業法非適用事業であるため、減価償却費を計上しておらず、有形固定資産減価償却率は算出されない。⑩企業債務高対料金収入比率は、新築工事による債務残高はあるものの、資産としては安定した状態にあり、新たな設備投資の予定はないが、将来を見据えた維持管理を行っていく。

3. 利用の状況について
 ①稼働率については、来庁者や周辺施設のイベント開催などで、高い水準を維持していることから、類似施設の平均値を上回るなど、安定した需要が見込まれている。

全体総括
 人口減少に伴う料金収入の減少はあまり見られない。当該施設は、令和3年度に供用を開始しており、現時点において、施設の老朽化や大規模な更新需要は想定されない。また、現在の収支状況は概ね健全に推移している。一方で、償還金が増加していることから、将来的な収支への影響も考慮する必要がある。
 現時点において、直ちに見直しを要する状況にはないものの、中長期的な経営の安定性を確保する観点から、経費の節減や利用増加に向けた取り組みを進める。